

地域医療連携のしくみを知って 健康に暮らしましょう

体調が悪いとき、まずは
かかりつけ医を受診します



患者さん・ご家族



地域の病院・クリニック
(かかりつけ医)

精密検査や手術、
緊急専門的な治療が必要な
ときは、かかりつけ医から
の紹介状を持参し、急性期
病院を受診します。

紹介



急性期病院

病状が安定したら、かかりつけ医や
在宅、転院など病状に適した
地域の医療機関を紹介します。

紹介



保健・医療・福祉等
地域の関係機関



山口大学医学部附属病院

〒755-8505 山口県宇部市南小串 1-1-1

TEL 0836(22)2111 <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>



フェイスブックは
こちらです



山口大学病院は 地域医療連携を 推進しています



かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医とは日常的に病気の予防や治療、健康管理をしてくれる身近な医師のことです。体調が悪いときは、まずは、かかりつけ医を受診しましょう。



かかりつけ医から当院への紹介について

山口大学病院での治療が必要になった場合、かかりつけ医の先生から当院に紹介していただけます。紹介状には、これまでの病状や処方されている薬、検査結果などの情報が記載されていますので、スムーズに情報を共有でき、薬の投与や検査の実施等の重複を防ぐことができます。また、紹介状を持参された場合は、初診時の選定療養費(医科5,400円、歯科3,240円)はかかりません。



当院から地域の医療機関等への紹介について

当院での治療後、病状が安定した患者さんには当院の医師の判断のもと

- 紹介状を持参された方は基本的に紹介元の医療機関へ
- 紹介状を持参されなかった方は病状に適した医療機関へ

紹介いたします。紹介した後も紹介先の医師と当院医師が連携して治療にあたらせていただきます。

地域医療連携に、ご理解とご協力をお願いいたします。

